

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 5 月 3 日				
児童デイサービス福すけ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		放課後等デイサービスの基準に適したスペースを確保できている。1階2階に分かれているのでその日に応じた環境が提供できてる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		人員配置基準に準じて配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	手すりを設置したり、衝撃緩和剤・蛍光灯テープを貼り付けたりしているが、全ての段差については対応できていないため、取り組んでいく必要がある。	6ヶ月に一度、設備についての検討会を開催しているが、常日頃から整頓された環境を提供させていただき意識喚起をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日清掃を行い、動きやすい空間づくりに努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		建物の空間をパーティションなどで仕切り、個別に過ごせる環境を用意している。	
業務改善	保護者様、ご利用児童が	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2	検討していく必要がある。	職員の勤務時間帯が異なる為、常勤職員が中心となってしまっている。広く職員が参画できるミーティングの時間帯を設定する必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		現在の支援プログラムに基づきながら、個々の強みを生かせる課題に取り組みるように検討していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティング時に話をする場を設けたり、【気づきノート】を作ったり、必要に応じて対応している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者機関による評価は未受診です。	第三者機関の評価は考えていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		必要な研修は実施されている。行政主催の研修・民間団体の研修に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成し ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		面談を通じて課題や今後の目標など適切に作成されていると思う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		スタッフ会議を開き、支援内容の検討・修正を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画書の支援内容を共有し、適切な支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	標準化されたツールは使用していないが、独自のツールを使用して 適切なアセスメント・モニタリングができている。	モニタリングに関して、事業所と保護者様と同じ様式を使用し、それぞれの立場を加味しながらも課題、目標に関して同じ視点で評価できるようにしている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		スタッフで話し合い、決定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		創作活動・作業課題・SS t・防災訓練等毎週異なる設定をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		その日の状況に応じて、対応するように意識している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		スタッフミーティングを行い、その日の1日の業務の流れ、欠席児童の共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	4	4	支援終了後には行わず、翌日のスタッフミーティング時に行っている。気づいたことは（気づきノート）へ記載し、急ぎの事や重要な事は管理者に報告している。	職員の就業終わりの時間が異なるため、支援終了後の打ち合わせはできかねる。次の日に振り返りを行っている。急ぐ必要がある時は、管理者に伝えられている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の活動についてケース記録をとっている。個別支援計画に基づく支援の振り返りにつなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1回モニタリングを実施し適切な見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		ガイドラインに沿って支援している。基本活動に関して具体的な支援方法の内容、留意点を職員間で共有し支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		場面に応じて子どもに意思決定を確認している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議の開催がなく参加する機会がないが、連絡協議会への参加をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		所在地市の障害福祉課に相談し、アドバイスを頂いたりしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校との情報共有は順調ではないが、学校のホームページなどで情報を集め対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		相談支援センターなどを通じて 情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		連絡があった事務所へは、保護者同意のもと情報を提供している。要望があれば、放課後等デイサービス在籍中に様子を身に来ていただいている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		連絡協議会での事例検討会で スーパーバイズを受ける機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	活動はありません。保護者の方からの要望もないため 現在予定はありません。	現在予定はありませんが、他事業所からの依頼や 所在地市のイベントには参加したいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		所在地の市の協議会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時の対面でのお話や、連絡帳でのやり取りを情報として共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	以前は研修に参加していただいていたが、昨年に行えなかった。ペアレントトレーニングの実施はありません。	ペアレントトレーニングの研修などご案内いたします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時や面談時に、状況に応じて行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		個別支援計画書見直しの時期に 面談をさせていただき保護者様・ご本人様の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		同意を得ている。同意していただき、署名・捺印を頂いている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		ご相談があった場合 迅速に対応し必要な助言と支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	保護者会等保護者様同士が交流する場は設けていない。保護者様からの要望もないため予定はありません。	保護者会開催の予定は現在ありません。保護者様参加の研修を企画し 交流する機会を設ける等検討致します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情・相談があった場合は 迅速に対応している。「苦情・相談」のマニュアルに基づき、適切に対処している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月の行事予定を 配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵付き書庫で管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		利用児童の特性に応じた支援を提供している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	事業所の行事に地域の方の招待は行っていない。	地域住民を対象とした防災訓練には参加させていただいている。事業所の行事に地域の方々をご招待する事には 感染等の観点から困難が生じると考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルの策定及び必要な訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		【BCP】の策定及び必要な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		事前に確認はしていないが、その都度状況に応じた服薬・予防接種・てんかん発作の有無及び服薬について、保護者様から情報をいただいている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		ご利用契約時 アレルギーの有無について情報を頂いている。現在 食物アレルギーのある児童はいらっしゃらない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、保護者様に計画書を配布している。必要な研修及び訓練を実施している。適切な支援をしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		保護者様には計画書を配布している。面談時に計画書の内容を説明させていただいている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ミーティング時に話をする場を設け、必要に応じて対応している。再発防止について話をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会・職員研修を開催し虐待についての知識・意識を高めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束委員会・職員研修を開催し拘束についての知識・意識を高めている。現在、拘束を行わなければならない児童はいらっしゃいません。	